

NPO Kyoken 通信 119 号

発行日 平成 27 年 8 月 1 日 / 発行者 特定非営利活動法人 教育研究所

本部（横浜事務所）

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20

TEL: 045-848-3761 | FAX: 045-848-3742

Email: contact@kyoken.org | URL: <http://kyoken.org/>

宇奈月自立塾

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉 5509-16

TEL: 0765-62-9681

FAX: 0765-62-1120

にいかわ若者サポートステーション

〒938-0037 黒部市新牧野 103 ファーストビル 3F

TEL: 0765-57-2446 | FAX: 0765-57-2447

Email: contact@nsapo.org

URL: <http://nsapo.org/>

夏が来た！猛暑である。都内より横浜市内の方が、平均して1度位気温が低い。

富山でも市内や海岸地域はフェーン現象のため気温が高い、その点、宇奈月温泉は昭和初期、避暑地として開発されただけあって、それらの地域に比べ2,3度気温が低い。

また、急流の黒部川によってできる風が常に吹いている。

新幹線開通以来、北陸観光ブームの波が続いている。宇奈月温泉も宿泊者数も昨年度比し、7割増しになり、夏休み中やシルバーウイーク（9月19日～23日）までは、すでに、どこのホテルや旅館は予約でいっぱいである。

ホテルや旅館で働いている塾生OBは疲労困ぱいの状態だが、戦力になり、感謝されるので、頑張っている。社会人としての精神成長の一助になる。その通過点を経過し、自立した社会人になっていく。夏から秋、毎年成長した彼らを見ると、清々しい思いになる。座学では学ばない労働観を身につけ、集団での生活で自律を学んでいく。

自律した生活・人間関係のスキル・労働観の醸成がやはり基本である。

当事者と家族の会について

NPO 法人教育研究所 理事長・教育コンサルタント 牟田武生

20 数年前、教育研究所には「あしたばの会」という親の会がありました。

この会は、不登校の親が自発的に、財政事情の悪い教育研究所を支援していこうとする親の会でした。当時会員は 150 名以上の方が参加していました。

教育研究所の支援と低所得の不登校の子が、当時、我が国で唯一、学校の出席が認められていた教育研究所に通えるように財政的に支援する自助機能を持っていました。しかし、役員さんのボランティア仕事と継続的な寄付の負担を考え、活動 5 年で所長の私が閉鎖し、自らで支援していきましたが、苦しいものでした。

20 数年経ち、現在やっと文科省がフリースクールに対する助成金について委員会をつくり審議に入っています。何をするにも時間がかかる国です。

時間の経過とともに被害者が増加し、ひきこもり問題は高齢化・長期化が進み、深刻な事態になっています。

今回つくる会はひきこもり当事者と家族の会です。ひきこもりの人の社会復帰を図る目的でつくられます。

カウンセリングや相談だけで社会復帰できる人（にいかわ地域若者サポート支援をも含む）

宇奈月自立塾で生活訓練と就労支援を受け自立する人、

しかし、それらに参加できない重篤のひきこもりの方もいます。

そのままにしておけば、家族自体が生活困窮になります。そして、両親の死後は、生活保護の生活になる可能性が大です。そこで、厚労省の援護局は 2 年前から調査研究として、ピアサポート事業（元当事者を研修して、ひきこもり当事者を訪問する）を、今年 4 月からはじまった生活困窮者自立支援法に則った全国の自立相談支援センターにおけるひきこもりのガイドライン作成、そして、居場所づくり、自主事業の経済的支援事業に入っていきます。

その中心になるのが全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）会長池田佳世です。

私たちの会も横浜支部になります。すでに神奈川には神奈川県虹の会がありますが、横浜にはありません。会の名前は横浜の市花からとって、「横浜ばらの会」としたいと思います。

宇奈月にも、その会の支所をつくりたいと思っています。

総会で初代会長に鈴木恵美子さんがなってくれました。ご主人が協力して頂けるそうです。みなさんで一緒によい会をつくってみませんか？

立ち上げ準備会が 8 月 8 日（土）午前 10 時から横浜事務所で行われます。

会員の方も、そうでない方も、ご自由にご参加できます。その時には、国のこれからのひきこもり施策について牟田がお話します。

宇奈月自立塾開塾 10 年を経て～寮長の個人記～

開業編

宇奈月自立塾 寮長 牟田光生

富山県旧下新川郡宇奈月町（現黒部市）に、若者自立塾宇奈月寮（現・宇奈月自立塾）が出来て9月で丸10年になります。

正直、宇奈月自立塾が開所してから北陸新幹線開通までの10年間まったく先がわからず、見えず、読めず、がむしゃらに日々を頑張りました。気が付いたら北陸新幹線開業か…と言う感じです。

それでは「日々になにもなかったか？」と、問われれば物凄く濃縮された10年間であった…と感じています。

まず、私（牟田光生 37 歳）ですが、高校時代から人生の大半を共同生活で過ごしていました。宇奈月自立塾開所前には軌道工という特殊な仕事を3年半しており、汚い言葉で言えば土木の飯場で過ごしておりました。これも寮生活です。

色々と理事長も戦略があったと思いますが、私としては実は悩みどころでした。

前の軌道工では色々な資格を取らせてもらえ、給料は非常に良く、若手でやっと可愛がられ始めた頃でした。しかし仕事自体に余り面白みを感じられなかったり、朝昼のダブルワークになるような仕事で常に寝不足と疲労感が漂っておりました。

当時付き合っていた女性とも結婚するかしらないか？も迷いでした。が、元々軌道工の前はスポーツクラブに勤めており、接客や人と接する機会を欲していたのかもしれない。

結婚し富山に来たのが2005年9月です。私自身寮の生活慣れている…とは言え、不登校やニートの子達と接する機会自体が仕事としては初です。小さい頃から接していたとは言え、全く右も左もわからない状態でした。まして当時新婚の嫁は寮の生活等はしたことが無く、やはりプライベートと仕事の垣根が曖昧な寮生活は厳しく、3カ月で横浜に帰ってしまい結局結婚半年で離婚となりました。

離婚の話も富山での仕事（宇奈月自立塾）を辞めて横浜で暮らすなら離婚はしないと言う事でした…が。一人苦悩し、離婚の道を選びました。その辺りからどっぴりと合宿生活につかり始めました。

それくらい、寮の生活を1から作り、人を預かると言う事は改めて大変な事だと痛切しました。

さて、北日本タスク安藤建二社長の多大な尽力を頂き、2005年9月30日に宇奈月自立塾をオープンさせるに至りました。開所式も宇奈月ニューオータニホテルで地元有力者等をお招きし華々しくさせて頂きました…が。

現場は理事長や他の職員等多忙で3カ月経つ頃には嫁も帰り、ほぼ一人で回すような機会が増えてきました。と言っても、御飯は贅沢にもニューオータニホテルからのケータリング。塾生達と共に就労体験なども一緒に体験し一体感が生まれ始めたのも、06年に年が明けてからだと思います。

◆ 牟田武生理事長のプログラム等のご案内

● カウンセリング

横浜では土、日を中心に行っております。要予約、電話またはメールでお問い合わせください。

1時間 15,000円（会員10,000円）、1時間半 18,000円（会員13,000円）。

富山では月1回、宇奈月自立塾（宇奈月温泉）で行っております。料金は横浜と同じです。

また、全国各地で行われる講演や研修の際に不定期に行っております。

メール相談は会員のみ。原則無料ですが、ご寄付お願いいたします。

詳しくはお問い合わせください。

● 講演

教育委員会・児童民生委員・親の会・私立学校連合会・PTA・福祉関係等、様々なところで研修・講演も行っております。また、マスコミ関係の研修・番組企画・企画相談等もやっております。研修会の企画立案、コーディネートもご相談ください。（有料）

● 留学&海外遊学・就労の会

● 価値観を変える海外旅行の会（自分探しの旅、認知行動療法の応用）

原則として、毎月第1日曜日午前10時～12時、横浜事務所で費用1回3,000円（平成27年4月より）。

①文化交流は価値観を変えるか ②具体的に留学や遊学とは ③海外で自立して働くには
全て、要予約です。予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。

※参加希望者がそろえば、海外視察・遊学旅行も計画します。

予定としては、タイ、マレーシア、カナダ、韓国が候補に上がっています。

今年、2月にはタイバンコクに行きました。参加した若者はバンコクの寮生の盲学校も表敬訪問等をし、よい社会勉強になったと言ってくれました。



● ネット依存からの克服の会

原則として、毎月第1日曜日午前10時～12時、横浜事務所で費用1回3,000円。

①ネット依存とは何か ②ネットゲームに陥る心理 ③脱出するにはどうするか
全て、要予約です。予約は横浜事務所に電話でご連絡下さい。

勉強会は「講義」「情報交流会」「どう対応したら良いか」の構成で行います。



● 宇奈月温泉で

カウンセリングやアウトリーチの他に、当事者・若者短期合宿を行います。

詳しくは宇奈月自立塾にお尋ねください。

ゲストルーム等あり、宿泊も可能です。(会員割引あり)

◆ 宇奈月自立塾からのお知らせ

● 夏季短期合宿のお知らせ

8月10日(月)～14日(金)

参加費：32,000円(施設入場料等含む)

宿泊場所：宇奈月自立塾

● 第7回二一ト甲子園開催のお知らせ。

10月15日(木)10時現地集合(中の口緑地公園)

参加費：無料

宿泊(希望者)：宇奈月自立塾1泊2,000円

牟田寮長からのメッセージ：野球・ソフト経験者求む

詳しくは、ホームページまたはお電話(0765-62-9681)でお問い合わせください。

◆ 会費納入のお知らせ

NPO 法人教育研究所は、皆さまの会費を運営資金の一部に利用させていただいています。内訳は会員通信費40%、寄付60%です。年会費は1口5,000円ですが、何口でも構いません。そして、年会費は会費をお支払いいただいた日から1年間有効です。継続を希望される方は、有効期限が切れる前に継続の会費を納めていただければ幸いです。

● 横浜銀行 上永谷支店(323) 普通 1442822

名義 特定非営利活動法人教育研究所 理事長 牟田武生

● 郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

今年度から入金確認後、会員証を発行致します。

◆ 編集後記

7月19日、第11回総会が開かれた。26年度事業報告、決算の承認と予算案、生活困窮者支援事業に伴う定款の変更、理事の承認等の案件は、全て承認された。会員の皆さま方に感謝申し上げます。また、会員を中心にした当事者と家族の会「横浜バラの会」の準備会が出来ました。(武)

本文にも書きましたが、9月で丸10年を宇奈月自立塾は迎えます。

10年種を蒔いてきて、これからが本当の意味での支援かな？と感じております。

「なぜなら？」宇奈月自立塾の現場支援体制がかなりのレベルで構築されてきました。

相談に来る方達は色々な症状を持っていたり、グレーゾーンだったりします。が、どういった支援をし、他の団体を含めたリファーマ先もかなりの数増えて来ました。

後は、中間的就労をいかに構築し行い、皆に利益を分配し、誰でも気持ちよく働ける環境を整えていく事だと痛感しております。

それと共に、本人も親も諦めない気持ちで関わり支援を見守って頂きたいと思います。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。(光)

10年間早いものである、この仕事に就いたのが、30年前、数学の教師として、当初は横浜で、不登校の子どもの勉強をみていた。そして、平須子どもの家(山梨県)や三ツ沢三愛センター(横浜)、南富士高原村(静岡)で、理事長のお手伝いとして、生活を含め、相談にもものってきた。楽しかったけれど、常に経済的には苦しく、給与がでない月もよくあり、年々苦しくなるのが常であった。

そのため、結婚もできず、マイホームもなかった。身もこころもズタズタになったが、寮長や若いスタッフの最近の頑張りによって、すこし、光明が見えてきた。しかし、自分の本来の仕事である、統計調査分析にうずもれる生活がしたいと考えている。それがなければ、若い人々の努力はそれだけで終わってしまい、次の世代がまた、苦汁の同じような努力をしなければ、ならないからである。

(たま)

時の過ぎるのは早い。とくにこの10年間は早く、また、人生、経営的には一番苦しい時期であり、ガンにもなった。でも、こうして、今、世間や国にも認められるようになったのは、富山県の地域の皆さまと地域の経営者の皆さまのお陰であると確信している。

地域創生の国民運動は、まち、ひと、しごと創生である。人生最後の仕事であると思っている、日本を愛するために、日本を再生し、平和な時代をいつまでもいつまでも続けていきたいと思います。(武)